

令和5年3月市議会定例会

市民生活部

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和5年度市民生活部所管予算（案）総括表	1 頁
2	電子回覧板導入支援事業について（拡充）	2 頁
3	町内会アンケート調査事業について（新規）	3 頁
4	地域コミュニティ再構築支援事業について（新規）	4 頁
5	八尾地区買物困難者支援事業について（新規）	5 頁
6	市民主体のまちづくりについて	6 頁
7	地域ふれあい活動の支援について（新規）	7 頁
8	青年交流・育成の推進について（新規）	8 頁
9	男女共同参画社会の推進について	9 頁
10	プロ野球フレッシュオールスターゲームの 開催支援について（新規）	10 頁

1 1	ユニバーサルスポーツの推進について（拡充）	1 1 頁
1 2	スポーツ施設の管理運営について	1 2 頁
1 3	スポーツ施設の整備について	1 3 頁
1 4	消費生活啓発相談事業・消費生活改善推進事業について	1 4 頁

1 令和5年度 市民生活部所管予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円、％）

区分 予算科目(款・項)	令和5年度 当初予算(案) A	令和4年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
市民生活部 合計	5,301,727	5,581,565	△ 279,838	95.0
(款2)総務費	4,969,669	5,281,364	△ 311,695	94.1
(項1)総務管理費	4,113,645	4,417,354	△ 303,709	93.1
(項4)戸籍住民基本台帳費	856,024	864,010	△ 7,986	99.1
(款3)民生費	332,058	300,201	31,857	110.6
(項4)市民生活費	241,714	218,532	23,182	110.6
(項5)青少年女性費	90,344	81,669	8,675	110.6

【自治組織関係費】

2 電子回覧板導入支援事業について（拡充）

[市民生活相談課]

(1) 予算額 6,653千円

財源内訳 国庫支出金 6,653千円
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

情報を一斉配信できるスマートフォンを使った電子回覧板アプリを町内会活動に活用することにより、役員の負担軽減のほか、若い世代が地域活動に関心を寄せるきっかけとするなど、地域コミュニティの活性化につなげるもの。

(3) 事業内容

ア. 補助金 6,600千円

補助対象経費は、導入のための初期費用

補助金(100団体×66千円)

イ. 事務費(消耗品等) 53千円

【自治組織関係費】

3 町内会アンケート調査事業について（新規）

[市民生活相談課]

(1) 予算額 2,000千円

〔 財源内訳 一般財源 2,000千円 〕

(2) 事業目的

本格的な人口減少社会を迎える中、地域の衰退や役員のなり手不足等の実態等を把握することで、今後の施策に資するもの。

(3) 事業内容

ア. 調査対象

市内140町内会（全町内会の約10%）

イ. 調査内容等

- ・町内会の実態（世帯数・役員構成等）
- ・課題等（役員のなり手不足、行事の取りやめ・縮小とその理由等）

【地域コミュニティ再生支援事業費】

4 地域コミュニティ再構築支援事業について（新規）

[市民生活相談課]

(1) 予算額 2,000千円

〔 財源内訳 一般財源 2,000千円 〕

(2) 事業目的

住民相互のつながりが希薄化するなど、町内会等が課題解決に向け連携・協力して地域コミュニティの再構築を図るもの。

(3) 事業内容等

ア. 事業対象団体

- ・町内会
- ・複数の町内会で構成された地域活動団体 等

イ. 補助金

1 団体につき、事業費の2/3の範囲内で上限は50万円

ウ. 取り組み（例）

- ・複数の町内会が、互いの強みと弱みを補いながら各種行事や環境美化活動等を実施し、活動を維持する取り組み。
- ・元住民や県外出身大学生、単身赴任者等の参加による町内の祭り等を復活させる取り組み。

【地域コミュニティ再生支援事業費】

5 八尾地区買物困難者支援事業について（新規）

[八尾市民生活課]

(1) 予算額 3,000千円

〔 財源内訳 一般財源 3,000千円 〕

(2) 事業目的

高齢者等への日常生活に関する困りごと相談会や各種講座の開催に加え、空き駐車場を活用した食料品臨時販売所の設置により、新たな買物の場の提供を通じた住民交流機会の創出を図るもの。

(3) 事業内容

ア. 実施主体

八尾地区自治振興会を中心とした任意団体

イ. 実施場所

八尾地区（八尾公民館及び駐車場）

ウ. 補助対象経費

①相談会等開催経費

②食料品臨時販売所設置経費 等

エ. 補助金

3,000千円（上限）

【協働推進事業費】

6 市民主体のまちづくりについて

[男女参画・市民協働課]

(1) 予算額 1,396千円

〔 財源内訳 一般財源 1,396千円 〕

(2) 事業目的

市民主体のまちづくりを推進するため、市政に対する市民や市職員の協働意識の醸成を図るもの。

(3) 事業内容

ア. 公募提案型協働事業 1,256千円

市民団体等の特性を活かした事業提案を公募し、提案団体と市が公共的サービスの担い手として、役割分担して事業に取り組み、地域の様々な課題解決を図る。

①公募対象となる事業

- ・提案団体と市が協働で取り組むことによって地域課題の解決が図られる公益的・社会貢献的な事業
- ・市民満足度が高まり具体的な効果や成果が期待できる事業
- ・工夫やアイデアがあり、新しい視点の事業

②採択団体数 4団体

③負担金額

1団体につき、対象経費の80%相当額(上限300千円)を交付

イ. 協働推進調査研究事業 140千円

市職員の協働意識を高め、協働に関する基礎的な知識を習得することを目的に「協働推進講座」を開催するとともに、先進事例等の調査や研究を行う。

【地域ふれあい活動支援事業費】

7 地域ふれあい活動の支援について（新規）

[男女参画・市民協働課]

(1) 予算額 1, 157千円

財源内訳	県支出金	500千円
	一般財源	657千円

(2) 事業目的

地域の子どもから高齢者まで誰もが参加できる新たな地域交流・多世代交流の場をつくることで、地域コミュニティの活性化につなげるとともに、ボランティア活動の推進を図るもの。

(3) 事業内容

町内会等の地域住民やボランティア・NPO法人が行う食堂開設による地域ふれあい活動事業に対して支援する。

ア. 補助金交付団体

- ①町内会等の地域住民団体
- ②ボランティア・NPO活動を行う組織・団体等

イ. 補助要件

- ①年間24回以上食堂の開設
- ②子どもから高齢者まで、あらゆる世代の地域住民の交流活動を併せて行う等

ウ. 補助金

補助対象経費は、開設のための初期費用

補助金（5団体×上限200千円） 1, 000千円

エ. 広報等事務費 157千円

【地域ふれあい活動支援事業費】

8 青年交流・育成の推進について（新規）

[男女参画・市民協働課]

(1) 予算額 590千円

〔 財源内訳 一般財源 590千円 〕

(2) 事業目的

地域の担い手となる青年の交流の場を提供することで、コミュニケーション能力の向上など青年育成につなげる。また、地域に根差した団体の協力を得ることで、住民同士の繋がりを感じられる活力ある地域づくりの推進を図るもの。

(3) 事業内容

婦中ふれあい館事業実行委員会が実施する交流事業に対して支援する。

ア. イベント実施

- ①回数 3回（10月～12月）
- ②募集人員 男女各8人／回
- ③参加費 500円／人

イ. 広報

- ①市広報の掲載
- ②公民館、行政サービスセンター等でのチラシ・ポスター設置
- ③近隣事業所への訪問案内

【男女共同参画社会推進事業費】

9 男女共同参画社会の推進について

[男女参画・市民協働課]
[男女共同参画推進センター]

(1) 予算額 8,681千円

財源内訳	諸収入	11千円
	一般財源	8,670千円

(2) 事業目的

「第2次富山市男女共同参画プラン」に基づき、市民の男女共同参画意識の醸成を図り、男女共同参画に視点をおいた施策を総合的・計画的に推進することによって、男女共同参画社会の実現を目指すもの。

(3) 事業内容

ア. 男女共同参画推進審議会の開催など	148千円
イ. 「富山市男女共同参画白書」の発行	132千円
ウ. 男女共同参画とやま市民フェスティバルの開催	873千円
エ. 小学生向け啓発冊子「自分らしく生きる」の発行	641千円
オ. 中学生対象の男女共同参画社会づくり作文コンクールの実施	130千円
カ. 情報交流誌「あいのかぜ」の発行	544千円
キ. 男女共同参画推進地域リーダー活動支援	978千円
ク. DV相談窓口担当者等研修会の開催など	167千円
ケ. 男女共同参画講座等の学習啓発	307千円
コ. 男女に関する相談事業（DV相談等）	3,126千円
サ. 「家事ダン」マイスター認定事業	1,635千円

【スポーツ大会事業費】

10 プロ野球フレッシュオールスターゲームの開催支援
について（新規）

[スポーツ健康課]

(1) 予算額 11,280千円

財源内訳 基金繰入金 11,280千円

(2) 事業目的

プロ選手のプレーを間近で見ることができる貴重な機会であり、本市のスポーツ振興に大きな効果があることから、大会開催にかかる支援を行うとともに、大会を盛り上げるための機運醸成を図るもの。

(3) 事業内容

大会開催にかかる負担金を支出するとともに、路面電車へのラッピングやバナーフラッグの掲出などの機運醸成を図るほか、子どもたちを試合観戦へ招待するなど、多くの方に観戦いただけるよう取り組む。

- ・開催負担金 4,000千円
- ・機運醸成関連費 6,000千円
- ・招待チケット購入費 1,200千円
- ・開催関係諸費（食糧費） 80千円

【いきいきスポーツライフ事業費】

1 1 ユニバーサルスポーツの推進について（拡充）

[スポーツ健康課]

(1) 予算額 1, 2 6 3 千円

〔 財源内訳 一般財源 1, 2 6 3 千円 〕

(2) 事業目的

誰でも気軽にスポーツに取り組める環境の整備や機会の提供を行い、年齢や体力レベル、経験、障害の程度などに関係なく楽しめるユニバーサルスポーツの推進を図るもの。

(3) 事業内容

ユニバーサルスポーツの各校区への普及のため、市民スポーツ・レクリエーション祭におけるボッチャ種目の校区同士の対戦を行う「交流会（ボッチャ）」の新規開催のほか、貸出用のボッチャ用具の購入費を（公財）富山市体育協会に補助する。

- ・市民スポーツ・レクリエーション祭開催事業委託 7 6 3 千円
- ・ユニバーサルスポーツ用具購入費補助 5 0 0 千円

【体育施設管理運営費】

12 スポーツ施設の管理運営について

[スポーツ健康課]

(1) 予算額 1, 178, 107千円

財源内訳	使用料	185, 087千円
	財産収入	1, 997千円
	諸収入	14, 370千円
	一般財源	976, 653千円

(2) 事業目的

スポーツ振興を図るため、スポーツ施設の適切な管理運営や維持を行う。

(3) 事業内容

ア. 施設(67施設)の管理運営	1, 170, 266千円
①直営管理施設(22施設)	111, 280千円
②指定管理施設(45施設)	1, 058, 986千円
(公財)富山市体育協会(36施設)	710, 866千円
(一財)富山市大沢野健康文化推進財団(4施設)	19, 378千円
(株)富山岸グリーンサービス(1施設)	18, 500千円
(一財)富山市婦中公園緑地管理公社(1施設)	2, 003千円
富山FSパートナーズ(1施設)	253, 829千円
スポーツマックス・三幸共同企業体(2施設)	54, 410千円
イ. 施設の維持・修繕	7, 841千円
・八尾スポーツアリーナバトン設備消耗部品更新	1, 600千円
・AED購入費(スポーツ施設9か所分更新)	1, 238千円
・その他維持修繕業務	5, 003千円

【体育施設整備事業費】

13 スポーツ施設の整備について

[スポーツ健康課]

(1) 予算額 479,000千円

財源内訳	市債	418,300千円
	基金繰入金	18,706千円
	諸収入	20,000千円
	一般財源	21,994千円

(2) 事業目的

スポーツ施設を安全・安心、快適に維持し、さらに施設の機能性の向上を図るため、施設や設備の長寿命化や整備を行う。

(3) 事業内容

ア. 拠点スポーツ施設の長寿命化	479,000千円
①総合体育館自動火災報知設備更新業務	12,800千円
②総合体育館非常用放送設備更新業務	13,600千円
③体育文化センター排煙窓更新業務	5,300千円
④大沢野野球場屋根防水対策業務	5,000千円
⑤東富山体育館屋根漏水調査	2,000千円
⑥アスベスト調査	300千円
⑦市民球場照明更新業務	250,000千円
⑧市民プール温水ボイラー等更新業務	160,000千円
⑨大沢野野球場スコアボード更新業務	30,000千円

【消費生活対策事業費】

1 4 消費生活啓発相談事業・消費生活改善推進事業について

[消費生活センター]

(1) 予算額 27,727千円

財源内訳	県支出金	756千円
	諸収入	92千円
	一般財源	26,879千円

(2) 事業目的

複雑多様化する消費生活相談に迅速かつ的確に対応し、消費者被害の未然防止や周知啓発を図るため、消費生活相談機能の強化など消費者行政の充実・強化を図る。

また、おいしいとやま食べきり運動では、残さず食べきる意識の浸透を図り、食生活の見直しや消費生活の改善を推進する。

(3) 事業内容

- ア. 相談窓口の開設 21,429千円
消費生活相談員人件費7名分
- イ. 迷惑電話防止機能搭載電話機等の購入助成等 924千円
ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に属する者を対象として、警告メッセージ機能と自動通話録音機能を搭載した電話機の購入に要する費用の2分の1の額(上限5,000円)を補助。
- ウ. 啓発及び相談活動 4,638千円
みんなの消費生活展の開催、消費生活教室の開催及び司法書士による多重債務相談(毎週水曜日)等を実施。
- エ. おいしいとやま食べきり運動 736千円
・小、中学校の調理員を対象とした食品ロス講演会の開催。
・イベントや出前講座、おいしいとやま食べきり運動協力店による啓発活動の実施。